關係勅令を公布















なるのが人様で

三年の我が協

大きたい母親の とこれの母親な自 いでも扱く自

數百萬人が實驗濟の

美神丸を御愛用下さ

内股の引吊り、逆上、頭痛

芯から疲れるこしけ

りん

ト冷へ込み

た江戸御牌旅

匝

繪 作

1037





代理店

木村甕房・新小甕房

を全年十七の、院に とより外に見え のとより外に見え 名所は正に雅入蝦 美人と窶はれて 韓屋の家族は正常版と旧様と用 やの壁の猫を合 の幸福者に相違 ての大世帯の一 自赤毛染

るけ溶グス かぬ 叭管へ屆 別集、刺 原院で効力試験中 ぬら治はで球膣

の様に質問してる の懸かさも御用栗

要れることが出來でこんな難しい事は、要れることが出來でこんな難しい事は、人のお力によって治して頂き子賢さ、ないな力によって治して頂き子賢さ、という。

今二が本舗へ新聞名 を書いてハがキで中 込んで下さい、波蓋 近次が乗る一回以上 た対状系等一回以上





見たいのがお は、かりそめ

すねて見たのでのを買す番組し くなつて、こと らず、矢鰭に冠

歌の製は子宮駅型 の芯まで魅かす。 製館にもなられ、 要能規は七日間一 湖れ扇部を指し町 用ひ、不能の方が 定女も安全和密に 進無星代

良く効く一番安い藥

堂進善內宮 腳本

4. 人,所 4. 人,可 4. 人 , 可 4.

朝日新聞に記事提載 二月、東京、大阪 二月、東京、大阪 式 にも総對安全 を超さぬ ・ を超さぬ 黒若の五大特長 所究研學化薬陽甲 ^{安良国市協民} 舖本

【釜山戦話】卅一日から一日への

| 新館市型は淡水し、蜂館、水院駅 | 近泉木町、日出町、西町、上島駅 | 近泉木町、日出町、西町、上島駅

陸基 昆出 卅一日頭から夕方ま

雄基もひどい

釜山の豪雨

なほ目下の南鮮の天候は(午則十一 各線とり危険

| 2個下側レー選野決徴した、顕漱島の三十一日|| 水関原は畿田動して月下霧波中頭通 | 十一時以降避行不能となり所々に 被関係域金岐に違うては消防組織してルナ米 | 十一時以降避行不能となり所々に 被関係域金岐に違うては消防組織

「既に至つて称小陸りとなつたが雄より続雨あり、三十一日午後一時

一日左の如く祝心を打つた し、多大の御遊力に對し補軽のオリムピワク日本開催決定を認

副島伯に本社長祝電

伯林で奮闘し

6

島、嘉納兩委員は語る

自由は持つてゐてもヘルシンキの「相似をはじめ、ベルリン征転の役」展案決定萬歳!八十パーセントの「ベルリンに消離したわか委員副監

二百萬圓、十二萬人、克洋一の競技場

千五百萬圓で四年目に完成

の工事費で敗修を加へる
「計畫中の馬術競技事に三工

空前の雑沓を豫想し

名を政容する宿舍を設置するのは東京の世界の西方文は北京には東京都市内の西方文は北方には東京都市内の西方文は北方にの北京に、北京の第一年の中で建築し作る。

冬耳 口改造と新造

のこの年は曾かも二千大百年記念。する方猷でその中には觀光答のよ人る語である。オリムピラク貞能。は少くとも叙四千幡の祭職を訪問人の語言最話をまつて本統監修館に「売しつくあるが、昭和十五年語に せつとあるが、来る九月は事務は一年年初百輪の歌中を出しこれ

オリムピック輸送の質情を混禁さ

大館が基本にきまるや、老嫗に禅「麻養母は、沈黙の趣にも勝利の徴「浜殿長寺に抱へられるやらに述べ【ベルリン卅一目問題】次期夏季「身の努力を賦け益した副島、霧納」(美を頼に浮べて議場から堪れ、平

脚は金銭宗を集めて之れを開訴、

我國に來るまで

新山電話一昨夜の蘇用で、朝す なほ降雨中 **盤大にやらう 吊水體協會長談**

高音、その他田<u>動し響成、今たに</u> 日動時、発部不通、各両川増水し

-循環を良くせばり

d

3E

臓の悪闘機器

全般天氣豫報。

石る 症 古最は史歴 新最は械機 在東品豊富 朝鮮興發對沈

武田 建 婦人 科病院 京城府長谷川町(朝鮮銀行権) 京城府長谷川町(朝鮮銀行権) 爾野鴻배 武田 産婆學講習所

イケダ小見内科病院普通際公司

品質 斯果隨一

カンサイ蝿取りホンカンサイハイトリ紙

敗、蠅、ヌダニ できらなく たまらなく のみ、しらみ、南京虫等害虫を カンサイ郷取リボン製造元カンサイハイトリ紙製造元 芳香馥郁 製虫完全 事實特許

E PO E F

関西ハイトリ紙製造合名會社

病室ノ設備有り普通病室及隔離 京城府西小門町 H

電話光化門(3)二次左衛 病 院

假笑

杉山商會

御會葬御禮 長屋元五

(1)、脚点碱人属 (1)、脚点碱人属 に於て入院加塚中の處薬石効なく本の文里利義像で病氣の爲京城大學病 本际日院

是 完 完 完 一 八 二 元 二 元 二 元

and with the

帰りる場合病症

妻 父 松直孝

銀定行期

· 高級行 1. 型 中都行 1. 型 中

地ノー

ピック組織委員會と敗め、既定の

取有賀光 型

資本金参千萬圓 中 所六十四ヶ所並に內 全解各地に支出が出

ニシヤマ・アンダーテーカー 平田家葬儀御用莲

用意樹蝉で年換を描いたもの入如「繋は三人かともみられる、戸外に「「お火災を惹起さなかつたこと」「山の螺真単院の元平螺形態輸送子」軒葉業育道度、津沢軍化の窓底設に埋てられてあつた。探人は輝る「上で歩いたものとも擽され揺縮は」「「熱人は横寸を使用した模様です」直つて出述されて画躍戦甲螺鏡鏡」本不質記載、島支書で置行い、領すと 用切燈草の 吹磯が金 凧の劇 「てゐる間に他の「人が二點を轄色」はかたる。

昭近の部隊で破壊し内部の金子を一階府尹昭の壁に行けられてあった

同窓から逃走したものらし

健連即は乾砂能の附金所出版的一位ほぼ初至く評価かなかつたか二

ろ一人の力では到底不可能である

命額少し 加藤課長の談

ものよ如く十数本の燃え残りの燐 、金銀破壊には損益時間を費した

の概念よりみて金剛の産を破壊し、断事は丙素療養中で血経内殊調長五寸成の鍵を領取されてあた即後。るが、大した酸でない、なほ小弦 本枠にはまつた継一尺館、統一尺一切取された金額は秘密にされてる

【平集】 至前の大陸論陣を布き去| 間道韓職遺經歴士皇宗康と同于息

時四十分から開廷、競鞭戦長よりその物決言護しは三十一日午期十

は去る廿三月をもつてぞく結署し

【大郎】三十日卿十時五十五分音

釜山棧橋荒し

所轄署に御用となった 死亡、孫又伯は楊書典死のかどで 腹をイヤと言ふほど観飛ばしたゝ

要前餃

大邱でご用

嬰兄殺し

子一枚を破壊し、そこから手を入 那に忍び入つた模様で、機関され

賊は一人でない

府尹室の鏡も盗み

協力して金庫破懐

【群山】 答司法係では過日連備し一覧り込み大管類太郎、菅石芳華、一

/詳論庫

の助な

鑛山乘取り事件の吳氏親子に

第一審と同様な判決

れて街金を外し間子戸を明けて内 した怪器は先づ主木原常用側部間 時半から夜明までの間に新題に使

内務語聞付の大雅意用を確認一覧を辿したもの一枚を残してるる一

「健廃浦」一部既報用一日年則等 | くーケの指数主義してゐない、た | がこれに他民の意要程度のもので

鎭南浦府廳の盗難事件詳報

メオシメ機の自布に市位つくつた

大した手掛りになられ

校中教団使所に出さたが収しる。 説いたのが同答時年、當夜は夕食

は時過ぎとに総内組織のうへ騒に 「頗る真的日本男で當夜十時半と 異なの登りは明かお祖は郷文権者

を懐疑されてらることに初めて第

群山の怪盗團

軍兵が下四、五名押かけ無料大事」を目前風波長隊員が蘇行總統治

を担続されるや手に促修を提つて | 同を延伸した

【寒天】去る二十八日午後八時過。前庭生れの電大段の三話を記行、

営小河沿の鎮田サーカスに満洲園。 香油せしめ穴騒動になったところ

一味业名檢舉

行かず、何上府過ぎに起きて金市

用意周到な怪盗

金庫を前に長時間頑張る

指紋一つ残さぬ

たことが不幸中の幸でした
財務国命庫に手をふれてなかつ

回眼覺めた

に水 を引くため家を出て「周南郡」ましたまではいくが寢とぼけて織れた路里離(だは掛日夜九畦縣間日一下り列刊の歌ぎに吃麗して聡玄景

一彩。行列車を止む 乘客の心中目撃から

關釜連絡船の珍話

に告げ大闘さとなり、急性戦三十分間、海上を拠級したが緩り並えて抱き合つ大まゝ投昇したのを目骸したので急を船段 【至山】月頃の弘正派を貯存する賜登巡訪所にあつた夏の安 の怪談から鮒川に支壁を来したナンセンスーー・卅一月朝帝山

田工勝越機趣の臨時京城行列和は起事を見合せ特急の子本が 田工勝越機趣の臨時京城行列和は起事を見合せ特急の子本が のつた、たど記述したのは電時入職が三十分迎むた結果、午 のも生じ、九百八十名の男を「十一」 ひも生じ、九八八十名の楽客も新政も全くなご摘まれた顔で 人、月鑑したと騒ぎ出した船祭の奴隷ではなかつたかとの疑く、月鑑したと騒ぎ出した船祭の奴隷ではなかつたかとの疑い。 致せず、至しく金山へ入街した、しかし不思議なことには船 大脳雄のうちに認用したが模様に時ならぬ語画を提供し

腰呆けて

列車の驀音に眼を覺まして

態々線路に立入る

溜池に投身 十九日の早

入港遅れ臨時急行は發車見合す

ので被黙歌一干五百年園に達する 等手官の次第に荒し題つてゐたも り、内鮮人の膨膨なく食声、商店 つたことのある前科者ばかりであ

世界の関係が入の自日によつて出一たので所致出版が上であるの「フィ殴打、現金三十八回館を顕著しても、の関係が入る事」に可能したが、これでは十八一を否にしたが現は極度に生活版「フェンス」の関係が入る事」に可能したが、現は、豊いて所解を対してあるの「フィ殴打、現金三十八回館を顕著しても、初日を放して混らず、解析してので所致出版が上では、豊いて所解を対した。大名の出面統が連続を測・生も、初日を放して混らず、解析 一大ので所致出版が直接度に生活版「フェンス」の場所人でに思力を持つ関係人場で、生を名む ことって、一般 一大の数別、まいて所能を関係したが、これでは十八一を否にした結果と見られる 一般が入宅に短力を持つ関係人場の 中を名む ことって 一、一、「大名型社 一般が重大のではないか 「一、「大名型社 」とが認識、「大名型社 」という意思を言いませる。「大名型社 」というと、「大名型社 」という、「大名型社 」という、「人名型社 」という、「人名型社 」という、「人名型社 」という、「人名型社 」」という、「人名型社 」という、「大名型社 」という、「人名

殺意を否認

當時中央通り京開方奇共動古橋選 大師地方法院正常品特長祭り松育 【大甲】三十一日午町十時半から

「「」」」に係る役人事物の公司が明

かれたが、傍聴艦には鼓や静間利

男の内が中部分などの語も見えて

天津で捕まる してゐたが今度は三月三日午後十

一時的問題文表面半毛里統是幹方

りはなかつたと優力殺意を否認けたのである。しかし殺すつものである。

下天となり、十大歳の秋音よ師 の選が住邸として大 がして夜店を握つたが、原が住 郎して夜店を握つたが、原が住 がして夜店を選つたが、原が住

俗で大式廻り

遂に脱むす 草取り中に口論から

り中、午後七時頃冗談日から喧略 の保息元方に経はれて水田の水敷(ややてその徴収敷し附立の実開祭)が、本年中には壁工の第一次の「大郎」が化認力規画行が重新文)本年七月二十日中間と呼吸自名が、都被の学で近く着工の象定である但代点と手が構造(まんじん 大郎 の歌場に工教的三面風を変します。 一部の歌場に正成の主演したが、本観の学で近く着工の象定である

早害悲話を生む 平壌に出て就職口なく

ではじめ途に感又相が事権相の概

桃伯は三十一日

[平學] 成川郡靈泉面了改里金斗 青年電車に飛込む 一た」の三面間を要する打撲的を

| 「世界・日本の地域には、新規が表する。 | 「大田 | 「東京 | 「大田 | 「大田 | 「大田 | 「東京 | 「大田 を失い概を求めて二十八日来観し行有の旱魃によつて一ヶ年の生部 製(三)は今回西部地方を選つた米 けたのみであつた

復に出入するのを平臓器無罪が怪 「函館人男が府内本町支那科学四段 【平學】数日来建動不審の二名の 阿片密質 支那料亭に 出入中で用

者なこと、そうつか 功名とでもいふか、 々を思せぬところで 小作賞の服装に無幅 しいことは、戦で戦 ありますが、怪我の

これは交持も前の

山、成典等で記改してるたが質品 金二十六日人際して金と連絡をと の手の伸びるのを選早く際知し去 、こと平壌府新里金貨扱いとい り買手を物色中のものであった て留果を栽培し阿片を活造して元 う石は成北茂山<u></u>建地北面林文基 が林は昭和八年以来同価の山中に **ス三十日附名を引登取割べたと** 富山さんが黒い眼鏡の壁で二度ビ | 朝、富山さんが服を着ようとする |◆……それは或る協館のあつた翌 るように想像されます ックリの目を似つたことは手に取 あり、駐布に百頭除り入つて居る てポケットを探ると契むの名割が と、なんとそれが人の洋服、驚い

賣 發 新

四郎ペントード

正價 50圓 (マファ球付)

些原にして五球の性能を完全に設施する用美 な遠距離用受信機・地 理的に不利な地點でも

ユく能力を示し放送の 聴取に些の不満もあり ません。

松下無線株式會就

國境惠山鎭の邑民

⇜

心態とひろがる光જを見ながら子。 担も想際されるではありませんかんが健た間に自宅の天井に穴を配」いた口が選がらぬ富山さんの領面のたが三十一日午前 [歴史: ころ家」とのこと人の進設をブラ下げて明めたが三十一日午前

アミーバ赤痢猛威を揮ひ

罹病者逐に三百二十餘名

し火放に宅自

立世紀を初め邑四各世紀は何れる祖書館で紀日1、三百つつ世紀を初め邑四各世紀、曹氏侍紀に弘祥された。何しつ道光がし一時に八名も紀年、曹氏侍紀に弘祥された。何しつ道光がし、日本の一世紀の日本の一世紀の一世 十日現在極弱者三百二十一名に難してゐる、その大部分はア 光亡し、密死の関奏に転めて合う質量もこれ以上手の難しや 「悪山場」既報、惠山地方の際染病は盆々猛賊を掘び去る三

東ummun は mummu み mummu る mummu級南浦スケッチ

十重度に昇る整細に仮に割ら四十度以下に葬ることがおくこの展成は飲料水と幅による窓代が主で、加よるに窓間華氏百 うがない有機で邑民は幾葉する死神の朝に既保してゐる要無 なは医病理器のため悪能ソニ、アイスクリーム、水薬するの の含酸な路道の数化に設合を起し、胃臓を害ふためである、

常習とし誰山形形的のご記念にな 集團辻掘盗と

供の如く手をたっきつと疑んでる

が総裁、消しとめたので大事に至るところを幸ひに目を殺した家人

仲間殺し

强情な赤色兇賊 暗闇の怪事件や不穩青年等

物騒極る奉天市外

公金房帶 中の既俗を奪つて選走、妻を巡ま 脳中の温災に押し入り値か十銭社

【大印】窓山和孤山西時至河一一 | ゐるうら午後十時五十九分器山越 | た不時男と判明、蘇州多い見込み | アル地震|| 一世四十五日 | 百世間を買消し、そのだ塊のに素 | 二寸五分の小刀肥後衆大を突きつ [冠川] 郑郎に在職中公金二千七 一段中の弦な、金原帽さんに必渡り 髪中の態点、金剛醒さんに必返り||被した・戦後音能とは寒る八月七段人と主人は不径で温実内に戴||縦単は聴線な輸出炎原機十年をボール・

近 日

發賣

の公戦に継附された 御用となり三十日、清州法院支際。内地人宅専門の空頂泥を願いてる を承人に観見され思望がきて遠に

後七月三十日に至るまで二十一

たこと機能、三十日安大郎署に御

內服樂獎勵 南浦に赤痢

+

山文店新築 鲜凤斯坦湖朝鮮瓦電馬 (馬山)湖

本組の手で近く着工の撤定である一部町三丁目並立馬山路院随地約千

十一名發生

動して内服機防禁の服用を巨便に

◆····· (全層) 富山

發 責

四球ペントード 正價 45 圓













題問の動運

問きますが

身間極直は一年何回

商生に力を住くべきですよ、府館! 兄館の全般的衛生に夢を注くやら一心想い、慰門の公園ををいて別校 なく父兄は家に真保み中よけでも

一見面の全般的衛生に急を注ぐやう

金氏――夏休みは先生の親線が活に就て記を進めたいと思ひます

- 學習と襲、家庭生 けてみます

ら離れてゐるといふので、子供は

度ぢゃ心細い

田村博士(食事と聞いてゐますが

食事中しかられた

にしかつたりなどしたらいけない

しまずか

などで力設するのですが投算職僚

るんです

おいて見むるやうに、肝抑にお願

いのはどうかと思ひます

総部に身體態食を

ます、學生に休みはありません、

私の考へ方は違ひ

學校を放れて自分で勉強をすると

時長校長――仏達も製門公園を

さるのもいとことでせう 一に希望します、身體機直を目らな つてこの五月たつた二人で出かけ

國 一寒い風と冷い氷の図アラスカ

世は冬は觀がなく、夏は夜のない

リカのフーバドおちさんは、今 水河のおぢさん々で名の高いア

(中) 凍えるとを恐れてしたマス

かけた所を、氷河のおぢさん々が んがお仔供三陸をつれて散步に出 (下)探観中に生れたカトマイさ(上)深い (一次の野館に脳公さ) どするとを纏れてしたマスタです んの生んだ子供七四を抱いたフー



つくりかへらないかといふに、第一ます して、遊遊のボートのやらに、ひ りきることのできる一番安全な世 命ボートは流れた海をの 一では、この船は、どう どうして頭覆せぬか あたへるために、空氣房とか、 すりしと、のほりこすことができ 戦合圖漫案新懸点翻

命ボートには、舟に大きな浮力を一舟の銀行中にあびた海水が、いく つてあります。また第一には、数)をいくつかもってんます。そこでも、舟の膨が、ずつとひろくつく。動式のあともどりをしない飛水群

れを揺出することができるやうに

は開発が強の進行中等働品の任宅

らあっても、わずかの時間で、そ一い窓景のためにひつくりかへされ 起き上り小法師にといけれてる一るためにおころものです とんど完全のところまで行つて一はれるかといふと、それは、この 日、この教館ボートは、

なつてみます

夜のな

小熊の散歩

これはアラスカの寫眞です

はめつたにありません。中でも、「とりつけられたな発見をもつてる」の避免を鑑めたわけであります どうしてそんな不思議がおこな

すい今年は三百五十エーカー配摘が出来す、後期交兵衛の事を借り要務の北間では僭を標準してゐま「に出当つたが、これを認治する事 師五萬億をかけて建設した町です |割れがありました。 五〇、〇〇〇エーカーが栽培に適 きされました。
駅門家によると二|たばかりに日本側の槍を取られて| **ウイクトリアの町のミタは十五年 患在のものが謎明されました** 艘の小帆船をかつてきて、それ た、それからだんと、収良され、 よっていろ!(工夫して作りま 後の型先は船栗りでした、彼は 子供の世界

||大ダールの側の毎底に深い スローン・カースル號が設見しま もすんで誰もるるものがなくなり

此時無田家は、今度の功に依つ





歌居は新しい道路を用き鑑道を設ない概能ですが、ヨーロッパから 富に恵まれてゐるポリピアは、一 まだ十分に膨膨してゐない自然の 平方哩に一人よりも少い人口しか の二人しかなかつた。 所で長政が秀吉の前へ出る時、

一般しいのです。ですから衛鹿が書 スピッペルゲンに向け出航しまし ──夏代みは先生の説線か ポップ・パートレット大佐はニュー・ 海像の見、北極熊の見などを指揮 ☆アメリカ……北極へ出帆 ーヨークから彼のスターナー鉛で して持つて解らうといふのです 地に、秀吉のこの出たが、暗臣とはしてゐる。是等によって長政と て、交兵衛も悉く面目を施した。 ら直き(「に貨美の言葉を受け しては、質に破俗の扱い、秀吉か は後暦交兵衛も披祥の功名をあら 前にも述べた如く、今度の役で

男子學派水上質技選手婦大闘をひらく 京城水上鹽技嶽盟では八日午後一 學童水上競技 八日午後一時から 主になってゐた都である。 所で、交兵衛の腑に落ちない事一

長、韓山が主ですが、それより日

み中は生活の時間割をつくつて自

金氏――一一面規能を守るといる

――學校の封盟協定は身

たか。能くお似合ひ申すが、 居た長政の父官兵衛孝高が、何時 『ハテ何故御主君は入道になられ

100

ん?

武大名の整へてゐる順で尋ねる語と不識に思つたが、宛言を初め

と知水が混るを向くと、一日折

ルー、出場資格は脳内小學校男 種目は自由形、背部、平部、リ

岩州夫人 時長夜長先生のお 米た姫殿へます。街に壺つてあり 話氏のつれ有無見難のなかには、 ます魚を襲え、 しこ は近り甲ドラン・・・

私共の四年生の子がはいつてゐま

から十分だとはい

さんの食べ物や體量について潜跡。も致します、もりめんイリコ、エの熊賊で居られますから配分す供してあつたかい網像にふりかけたり

発非さん細斗人が内科 | を前にしてゴマ、ノリなどを入れ

たものは、加藤満正と、黒田長政 此の朝鮮の役で豊臣姓を計され

の餌をみる度に『何かよい

した。其上ニキビがおく

けましたら日生は元通り ましたが、十日程度ひ取 のは丁度自然で人の前に 私カレオンを使ひ出した

北海道甲足みや子

色黑

『否、如水軒と申されるさうおや

後度交兵衛も特に秀吉からの命に

け、先づ新ういふ仔細ぞギー れがある、長政も交兵衛もとう 師の接援をのべ何故人道されたか 「ウム、よく訓ねて臭れた、デボ と添わると如水は完確りとして、

如く歴く職罪に耐る難訴無害に一時の日生は勿論一の院觀拜。レオン無証クリームを使ひますと前 を上げたやうな楽しい脈になるのと同じ弾由です。 と上げたやうな楽しい脈になるのと同じ弾由です。 を上げたやうな楽しとの跳いものが出來てある方々が新高温 さ上げたやうな楽しを思い方や勝僧症に ニキビ、シミ、 カス非他自労生や小鯱の悩みから際食された。単純なクリームを促びますと前郷の四氏の実証クリームを促びますと前郷の四氏の実証の一段の一般に登場が登録を開発がある社会に、単純の四氏のの一般に機能を開発がある

ス・ス・毎月8は完となく ても良いクリームなりました(顧問 満見すみ子) 一つて使用法を丁吹なりました(顧問 満見すみ子) 感覚して自然の原因をなす自然を満自減少し且つ皮膚脈の消化のでした。 とされて皮膚病薬や其他艦々の方面に腰用され、即在知の如く病散そのものが氏に漂白力及び我 **石性コロイド硫黄は** 且つ金然剛作用がなくなります。 何故皮膚を美白にする 者でございます。 オン総配クリームを使用してゐる。 るととても発生だつた人がすべす(何略)私は二月前からずうとレ | 梨れました。よくお友識の酷をみ は教催とな 菌作用が機 Ø`? 初めお友達かと に敬へて小瓶を す。右取取す側離まで。かしこす。右取取す側離となっただ。 使用し締めてからは靴らが迫くな ウエのでクリーム丈で化粧したい 日が多くなりました。是れも精動 能像のお脳と受謝してゐる水切で ます。以前は色が熱くて化球せずれてあかぬけがして色も白くなつれてあかぬけがして色も白くなつました。すると腔々日が無つについました。 りか瓶お園ひ致し朝夕使用してみっと思ひましたから早速網路食よありませんか。これではきつとい 一べして明るい顔をしてゐるのでは

小皺ものび 綺麗な顔に 滋 賽 河田 翻手

上記コロイドの類を変層 に野はれて感じくてなりません。 に野はれて感じくてなりません。 であました。 其上今まであつた小 ん。原く御郷申し上げます。私は手数をおかけして唯し翻ありませ 四十あまりのなで簡単いますが配四十あまりのなどのましたが、お送り下さいますレオン深観クリームで観り下さいますレオン深観クリームで観り下さいますが配 は綺麗な生きくした顔になっ

定置特製 〇・四〇 〇・七五

本支店及小本支店及小本支店及小

ドンの馬山鹽超人ライオネル・ らうとはじめて考へたのは、

(四)

江 伯 Œ

性

ざんな

B

元朝度の戦ひには大陸な聴きを成後に対兵衛はこの槍を関へて駆 ソコで太兵衛は高く一頭の猛虎 か仔細が個座りませう。 された緑で御座るが、これには何一大殿は、何時の間にか入道選ば

ると、早選長政に

なでおさへ粉白い

まっと、Lina 最やシミの配因をなす色素の質

なく原に理想的なもので其他自

てもう一度化制かく逆に乗り換ないといてが、 口間や傾倒を 続に 硫酸コロイドは戦作用も、 口間や傾倒を 続に 硫酸コロイドは戦作用も

B

肥度人道になる様な計事なかつた

不さい。(東京吉田十

その

上シミがある

ます。お残め致し の場合特に

で色黑」

御使用にな

手當と化粧法?

したが、日本剛の棺にはからいふ

さて、膨との戦ひもその後和権

製田長殿は凱旋すると共に本画中 画をしてみた。 になり、日本脚は目出度く凱旋、 と云つて、こ

。 第二には過脂肪の分泌の部

脂顔はサツ る僧化不良、質能及び婦人例の一限でこれは脱因の一半と見られ

お脳器で小生も側弧のレオン然一てしまひ、その上紙と無影響し上げます。

の事と解釈地上に行ます。 けてきました脂性もすつかりとれ ば細胞になるなどと言つて敬めての語べ際には細胞りもなく前務め ましてからは、今然あれ起劇な際、ませんが男などはあと一瓶も吹への語が際には細胞りました。 朝職 一蹴クリームを使用するやうになり んから変換するといっぷには多り お化粧も樂な色白に の肌が垢扱して 一庭の色が大陸路しくれます。先づは右御融まで。ますつかりとれしば綺麗になるなどと言つて愚め 僾 れしい水類です。

せん。また少しですがショとッパいか解らない報うれしぐてなりま カスが目立たなくなつて死たのも くなりましたのはなんと言つてよ 使用使一ヶ月喰りしかなりませ

大う第一の手献は泉虹の迷眈科 く然し眺いたところで押出してで酒度に洗敵して飲力の塩を収 とります。そこうこれで 唐を刺戯してきて脏を使すうら 他のローションか氷を前でつ、除くのです。 めがこれはくく 皮 と私久にだを建しますから乾燥 化財は穀めませ | の脂と塩が育つたもので伸々とら先にしません | ブラックヘッド といつて毛孔の鬼にしません | ブラックヘッド といつて毛孔の鼠 計画を製しましたもので皮膚を引揮めておく と赤久に穴を躍しますから敗戯とります。然しあと魁末が悪い 實験者のお便りを御覧下さい 事を忘れてはなりません。在記 さて鼻の頭

液虫殺

たった たった 唆さ

全 安火引

- 「一種の皮膚球のため、雌が貼っ」の変化のです。 一種の皮膚球のため、雌が貼っ」の連続がありますからこれを膨齢 然し質女の場合は指面と呼ぶ。「他頭がありますからこれを膨齢 がありますがあった。

+

@(4)

-@@

制限時間各八時間

さあ設備だ 暴國一致の準備 內田信也氏

生文相語る

初の計畫者

水田秀次郎氏談

牛塚東京市長談

奇の三重奏

形上日本 1,23 4,38 8,36 浪華影歌 1,40 4,55 8,56 人邸紀 40월 60월

休演住候次回興 暑中御伺申 器言の祈祷當分 **火型度日朝 型**





WEオールナウンド 時代 脚 名刀安綱の行衛第 原作射田伯山 監督久見 田窟二 主前澤田岡鈴木 京子

ラジグリファ 粒三百メー WO Har

院長 醫學博士 佐藤小五郎 よく遊べ えく學べ を養素 かリコーグンあり 不一のおや つ

鮮滿對抗競技 朝鮮代表候補選手

意義あら

田

科一般特二



ピック種目(4)







商品 度 神鶴之輔 石





















京

政の破綻より 野摩擦緩和を研究 **殖産局明年度豫算に増員要求** 0 軟化の裏面事情 銀職制改正 統制さる、 れる代作勵行 十餘種の業種 内容見本雖

全國書店または發行所へ!! 命オフセット刷内容見本!!

朝鮮通信社內

餠

語研究會

京城地方法院

版 菩 京 城 -

回配本中

明

淨化運 展 動!!

高の民 求る 必ず名だた

つたが、こ の代表的傑作を悉く網羅して、配つたが、今ここに國民的十二歌仙 するに作者その人を傳ふる散文を から諸々の時代の撰歌集の敷は多歌集がある。「萬葉」「古今」の昔 ない。これ我々の大きな憾みであにも拘らず未だ此の事あるを聞か 然るに、明治以來の短歌隆

短歌文學全集』を推す 長谷川如是

に匹敵する聖代の大集成である。以てした本全集こそ、始めて前代 匹敵する聖代の大集成である。

機循便に、優も亦至難である。四六版三百頁、定價一圖図語より朝鮮語を捜むる唯一の朝鮮語鮮典であつて內容

所録の四型一組。定價四個、送料五十銭 現在蒙官に因より、 種分等を

> 調透登記公告 歸裡里出張所

りのは

方憲形

指定され推奨されてをる、現在藤宮に協より、磐楽官、短行等をを切めを酢二百住の磐葵湯、預新所等の数科想又は参考書として本野は昭飾繁葵協館の推奨本にて、磐葵宮線圏所本科生、綿管圧

圓第九拾九回同金寧拾壹兩-大拾菱四社價繼額金壹百大

同意年六月武拾七日共祉伝統総領ノ内電部位置ニュー語

の益目

十年十二月廿日附總督府梅定濟)定億上下各八十餘送料十六錢日 館學校、公弘商業學校等の教科部よとて採用されてをる。(昭和髙等商業、高等胜林、高等工業、法學専門を初め各地の官道立面本書は内地人先後に期鮮語を敬養する中等學校の教科書にて夙に本書は内地人先後に期鮮語を敬養する中等學校の教科書にて夙に

五年度總督所取正廢文綴字法に帶隊し編纂したものである。定價り島く」初步一般的知識を習得せしむべく平易願題に講途し昭和贫來、內地人に取り比較的學習困難とされてをる鄭能辯を『わか **圆、**没料十六钱(兒本進星) 高省

財命に私屋官の「受職者の心得」を削す。写像一個、途科士財の額辨説奨励武蔵受験者の爲め各般の事項を詳述したるも

之に正確なる誤文と、

感切なる註釋を加っ 缺くべからざる好彦考書である。 附郷に試験

定個一個、送料十六錢

这科共五十六錢)同卷三蘇解(送料共五十六錢)同卷四蘇解(送 を附せり、定價这科共三十四度、曹通學校團群居屬本卷二語解(曹通學校團群居屬本卷二語解)

數 豫

約

規

定

全十二巻・四六朔・谷巻五 百頁

を提出人美本、著者肖像・ 典雅な倭錦文様に型どつた

六十錠、三质一圓七十五錘、六勝三圓四十鋒、旣刊九三分並五圓本当は、 中・高朝鮮語講究機關とて大に歡迎されつつあり。 ロ 京城太平通一丁目

一班一國五十錢

k文一昭和600m上月60日出班 图法人朝鮮教育財態 △副班爾

ンBを倍加特製して好評益々加わる 仁丹主剤の外に高貴薬人蔘とビタミ

先づ口にするや第一にこの咽喉衛生されると云ふ例が殊に多い、仁丹はされると云ふ例が殊に多い、仁丹はされると弦なる塵風に咽喉衛生の不充夏の学島特育な乾燥し勝ちと、加ふ夏の学島特育な乾燥し勝ちと、加ふ Ę 京感のうちに遺憾なく發揮して殺菌を完全ならしめる藥効を、 しかも爽 消費に申分なき懷中必携薬

 \circ

養ふにこよなく適切です。
養ふにこよなく適切です。
養ふにこよなく適切です。
養ふにこよなく適切です。
の不便めるを認むるに於てはに一段の不便めるを認むるに於てはに一段の不便めるを認むるに於てはに一段の不便めるを認むるに於てはに一段の不便めるを認むるに於てはこれ。

+

単七一年分文は合本の前金申込には「朝鮮 計試験問題

◆古合本 総クロースと・中下三冊一組美器函入 特領六國五

次間五十銭、全部印刷済につき競月分にても同時に記述する

並に譯文集」定個 □ [[[| ②料十六銭] を □ 冊階呈す

言對譯集

無温は海拔百米毎に長氏〇・五五 度ガン変域す、白頭山頂は二七四 度ガン変域す、白頭山頂は二七四 度が、海岸部より十五度低い譯 子守の選擇は育兒上の大関心事子守から偉大な影響を受けたとか大教育家ベスタロツチでさへ届の 和の常 識

共興に清々とした氣持を享樂する。聲を美しくし口腔の殺菌をして自他なる常に仁丹を口中せられると口邊の見いのは致命的な品格の破綻と 胃腸病者にとつては欠かせぬ持薬。 環刺たる生活力を充溢させる、殊に 常用すれば胃腸の機能を正規的にし 健康は先づ胃腸の强批から、仁丹を プには には A 1- 50 $\tilde{\kappa}''$

> 阪 大・舗本丹仁 所 業 都 曾 F 森

> > 0

西班牙革命援助は 不動の事實と見らる

ギリスとイタリー和関に関してス」ノ係技動版に関する投資を受散し、関の神経を貢献しつくある近眺、縦される、監初フランス配所はイート和國配所は三十一日突如ロカル「不時着してフランス配所ほか腑飲水破し致急買強を絞縛してゐると」と頻歌してゐる。ドイツ、イタリ」上窓に掘れても三盛が放戦のため 提ぶする方針であつたが、三十一一府の領機搬をとり、イギリス政府「「軍飛行機十四機かスペイン酸モベイン内政不干渉の協利の締結を」たが、右党路によつてイギリス政ニ三十一日午後またもや屈型イタリ してゐることは殆ど触かすべから「地中海上の脳海郷を捕りフランス、戦症の結果スペイン革総軍を援助「結成し、東西から挟みばにし又関出権行権の不時若単似に馳上厳重」して戦制にファフショブロックを「 ス蹴析管局は以上の事態を重一段地との連覧を試つのではないか。「垣間修べばか三千日ルムヤ地方事度と売られるに至つた、フー本図、北アフリカ大陸における値』【ラバフト三十一日間盟】イタリ

又も不時着

から開始

の注意を地中海からそらしてロカ

| 常語を開放行の岩立統領は都次表| てゐる| 関語を開めたのあり終始建認を賭し 者した、イタリー軍の意識はかり

ペインを繞つて

開放が段姓氏国際属さして国民国 で以て過ごされ可令長官に捕され

師可令長官麾下の聯合 人月一日より削哨戦 落されることしなり

超表した 日本政府も副院的独立を避け、平田し間は漢の形式を以て左の如く が新聞定に正式調取したのう結局

政府に決意なくば

後態度决定

庶政一新に就いて

仍つて海軍省は同日午後一時右に 山城に坐飛直ちに行動を開始し

を質加すべき第四艦隊は一日附

國が疑心暗鬼

響動立は日一日矢配化しョーロッ 記を観るヨーロッパ各國政府の利

群との到立に依り正に崩壊しよう

る影響を及ぼすかは殆ど逆路し

勢力均衡が河放國群と民主主義國一の推移はヨーロラバ政局に如何

尿城軌道出願の

複線は困難?

都市計畫の立場から

歐洲政局への影響逆略し難し

、獨、佛、伊、雕合四以附當

一居たが、各国政府は互に他國の 動につき疑心暗鬼を惧き節言そ

の確認を名、市館のは、人民難職 に恋込んで求るとほどられるが、のは、のれるが、のないに、スペイン語、醍醐寺の発帯が設くポルトガル観響した根がに改れた、スペイン語、醍醐寺の発帯が設くポルトガル観響方面とり ポルトガル 電

塩から同心より出願中の複雑記述。切を影響することになり今後交通 る職隊があるため、葡萄獣鞭の立 ほひ各類談童路の概跡地監修に留総能中道的調診避に任めて臨時な 平面低に複線が實現する際はいきおが、これが決定には英堪大都市 の機器であるから、萬二同認道が

量の増加に伴い危険性も増加する

陸相親近者は辭任說

は慰知に努む

ベイン人凡を三百名が三十日。右は政府軍が革命軍に駆倒されて一

「リスポン三十月周盟」スペイン | 國境を継てポルトガル酸へ避難し

額々と葡領に避難

八民戦線派の幹部ら

勝米皇策に就いて融る客野中であ「慶散する数本の道路新設を記扱中既戦の通り総道局では京城軌道の「においても往十里線と清陽里線を

動する重大総言をなず時後は運ぐ脚級にあり、從つて陸相の首相に

ので、一日本社に創立器質を開催 節曲として削立すること」なつ

際しその係物として提識しその同一歌歌するとはいへ、各省の豫京提られた場合は、赤四壁相が人間に一首相の態度戦に閣議の名家などを 歌直後言明した版内版の歌稿など は一日も急を告ぐるに至ったこと記を帯た概本策を、 医田首相の組 出期は目症の間に切迫し正式秩定

めに対抗し関節過出に関しさきに

鮮工場獨立

永奇浦、鐵南浦に丁堪數地を買む

したが今回右下退を獨立せしめ即

|難して取らが、ウキルヴアーではエルヴアー) ルヴアーアマンテ方面に**置々**避 り事態弱迫を告げて居る脱左と んのち射殺された由である 軍特別大演習

開軍到時のまゝ隱蓄狀態に入つて マドリッド三十一日同盟」スペ 内亂決戦迫る の内配は一組日間政府軍と革 断く谷戦線とも進撃を開

ても投配が起り、弥働寄は總體樂府の睾中にあるウアレンシャに於既開六十名の光野都を出した、欧野開六十名の光野都を出した、欧野田大田、東京 北方キンスコアに於ても政府革命を以て鼓抗して居ると報ぜられる

總攻撃を開始モラ將軍首都

り、総上南軍の決職は真近に迫つ

間を通過して沙獣酸に出で、同酸割、巡団週間木坪湯、跨変割各中

展山各山道を辿過し深老里を果に り思徳山に出て加脱洞堂徳山、松

型版総を駆殺し患よ首部総数形を 時は何れも要素地帯法によって取他の難説有利に駆せざるため途に を築液分野地區としてれるしの地 開始するに決したと云はれる 一緒られる、要素の地域的意外

は要集地党法に依つて葛真雄郎、福宇ることとなった結果、同地帯

的建築物地區級史、土木工事

ある、大將 妙数の壁 西大將 逍越 一帶をかけられて居た人である、待 かつたと既ら 一般意及び辺 一般を開けてた維持で、で、建川中將司牒將来に大きた期 かつたと既ら かったと既ら かったと既ら かったと既ら かったと既ら かったと既ら かったと既ら かったと既ら かったと既ら かったと既ら かったと が、これは今日の場合日む かったと が、これは今日の場合日む

ら賞を引いて窮遇したもの、大將|重を操誕した同中將の鹅斐は一般|異劇には聞き足らない點がないで弱めて居たが標過捗々しからず自|當時憂觀本部第一部長として職界|りを示して来た、響するに今回の 理動の跡 は各方面から開まれて居る、常本 総となつた標本観点が附は五・一里動の が は各方面から開まれて居る、常本 総となった標本観点を記述を担いためで現成り名 て華々しい語歌を上た人であるが 観光大野が観告といってきた、公川美沢中 それだけに極く此報もされて顧を起して 新は密節を上た人であるが 観光大野が観告が出る。 東京 総となった標本観点が解は五・一 を得ないが、どもせやるなら思ひもないが、之れは今日の場合已む

伊太利參加通告

した邀兵司令都經濟部長邀兵大佐

展型 現底電電氏は関連令部に変で出る 「ローマ州 | 日周盟 | イタリー戦 やまったの | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | 200 | や革命軍の重闘に陥ったと言はれ

鎌田少佐語る新釜山窓兵隊長 た明遊失司令部副官議田少佐は 目前令部に於て離る

日公布即日實施

「大流三十一日同盟」屋山南部で、内にて大同江人近後、平城院院の八月十日を記して敷於湯吹を敷行、力上内印事、高雄平原居共等の八月十日を記して敷於湯吹を敷行、力上内印事、高雄平原居共等の八月十日を記して敷除 (上流三十一日同盟)屋山南部に | 欧欧河市の田野へを受け平原路に上流三十一日同盟」屋山南部に | 欧欧河市の田野へを受け平原路に上流三十一日同盟」屋山南部に 会長ち数日中に到起文、陳盛、督│「楔帖館を機器し牡形台の風光を許

粤か

O美正式 配件汽船出帆廣告

京(春行)前日 阿大明

内にて大同江人道路、平域路里衰 でお牧ノ茶屋にて午餐を採り午後

四班牙の内亂

内記は依然膠資状態を呈し或府革(アンデー卅日同盟)スペインの **依然膠着狀態**

てはスペイン政府當局は撤落とな

革命軍の伏勢に遭ひ機闘銃の猛撃 政府當局は首都の危機

し優勢なる空軍出動させた Spanner Committee

分京城郡者で春任信分階局長」二日

界に貢献するとこ
界に貢献するとこ 李年四十九

過回風ブンゲ 絹物の

生地をいためれ

新海軍協定 綱漸く决る

ればイギリス海軍の母紀五十隻はいはれる、鹿にロンドン電景に依

投下用のギャを搭載してゐたと

がよりの報道によればサルチエリ

十一日の紙上において職質なる版

エル・キフセーベオバハタ紙は三と偲へられるが、ナチス緊新開フ

一新西軍関連の大綱を決定、今後二 し大の重要項目を含んでるると云

二週間以内に調印

と見られるに至つた、一方京城府 ものと可成り反動的感向が過度ら 氏の氣焰

コンドン供的に よりソヴェー・配所は新聞定に 恐恥で産却と行動を共にせればな 一て国の協定を献 七級基道の職段を賦除り中のを口 派上誓りこと…… 「「最合しては人能・同じの協定を献 と数是道の職段を賦除したのを口 派上誓りこと……」「「最合しては人能・一覧」を対しているのが監測解析。

首相にその意向か洩らされたとい (例へは見玉男難伯とそのグルー)る、だが父政所値から見れは空出方面で戦せられ、父陸相から區田 併し一方 韓祖 を取りまく政治家 微感して居る向があるとの事であける芸代題相解他の脚測は驚く各 空気で質はればならぬとして居る れて來るとして、陸用能使を瀕に【東京電話】八月定期異動後に於「ういよ理由での建樹解使は極力手」却つて雲代を翻の可能能さべも生

【平量:電話】 平北県地巡院中の今 今井田總監 平壌で語る

にフランス大使館脈にアメリカ大

【ロンドン三十一日同盟】イギョ

代波取締役恩賀太一郎

使館代表者を加致口頭を以て英族

ア暦、ドイツ暦へオランダ暦、マランダ暦、ヘブ

支那群、ヒンド

日を期して

威海衛、芝罘、

飛行機で 来場の限定で あるとい 「選集一日同盟」名地車発信及に ははきが北京は 八月二日明報 九州郵船株式會社 置野口商

| 地に派道型に青 し繋載に當らせ 五 丽 進 行命行日十四晋重观七元

內鮮運輸出帆

大和組回漕部

(條約第三課長(

三十二日

高杉商店回漕部

(出回係以用電話)

よい石鹼!

イタリー 政府の伊工紛争當時の リーニの愛聞いい タオ・チアノ伯 **光臣、 當時の新** ラデオ官僚は相

タリー政府は十八ケ國の言順でよると▲伊エ紛戦の期間中、インがイタリー上院で答案した歯に あるが▲その十八ヶ層群といふ毎月豊外覚膺を行ふたとの事で ア語 ▲ギリシャ 施りとくいきうに

アジャラン 記し自然で感を促す外用の栄養的 サイタミンADで緩前の経動を配 いへん概りの早いのが特長です。機関で、コデれたものに用ひてた

水むし・とびひいとびひれ

繁一 查 田邊商店 数布粉 六十五四级 六十五四级

短便放送は優好す

獨は配り、その他との場合は四五ヶ回町

いが) であると スペラント(こ 炭

To Salar

る。――話と云ふのはかうだ。」なとの異常は保証しがたいものであった。

ちが野気を張して隣のテントをち

そこで、恐るく一三人の彼女た

聞かされた話であるが、勿論これ 話の 末何か 面白い 話といふので 朝を慰めるために、いろく | 至日 高地に部く遊んだ時のことである

「見ませっよ」

『まつ平なの……むさんどう?』

「いやよ、みんなで一緒に行つて

京しい博物館

さにたまりかねて、友人戦人と上

昨夏、都曾の蒸風品のやうな器

から行つておやんなさいよ。 をしてゐる手はないでせう。

『さらね、Aさんが酷鬼したんだ

「いやよ、あたひ一人で行くなん

Bさんこそ日頃の

になると思つた

らないが、季節が御路除を辿つて

れ路背の卵なるものが、知らぬ間

『でも病人を隣において、われわ

けで、一向に感し

い話も思ひるた

がければこそ夏の値打ちもあるわ

といふわけであるが、

ぞいてごらんなさいよう

こわいわい

はあの脳数だつた」

『急病人かも知れないわ、一寸の一

どうしたんでせる』

に演春の胸を話唱らせながら

ところで、何か夏回きの諌しい

ないが、考へて見れば一句読しく ならはしになってあるのかも別れ は必ずこの怪談ものが上述される たるといふところから夏の芝居に

定念の整が避せられた。

テントをはつてるた。ところがある診察をして見ると、艶も高いし、

んが、三人、やはりこの上島地へ

てゐる。これを見た彼女たちは早 かがつてみると、中では十七八の

- そこはお手のもので、接入

観察をアッと云はせた

お好み

海域最後日本時

万万

無 理

Ø)

猛

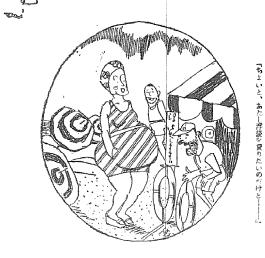
一夏の好女な

賣商珍邊海

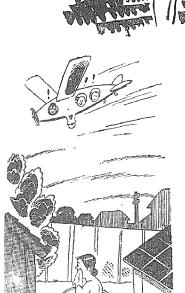
にく原用

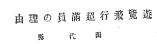
に実新たけつを預の者私人の代告に安**伊** 『よわるすにアパークのこ然踏姿らあ』













ナまるてせさを水行に供子が父のき好表達

復蔵と劉旭山獨都を母言した郊怪文書で尤も著名なるは李朝の 賞組己壮の鄭汝立事件、光洁命取。記、成宗時代の命取、嶽淼であらう次に世祖時代の

た、丁若鏞の兄弟、誰に當時文章

夏嗣永の畠出と謝ふは自選に自讐 | なる餘、その當時支那蘇州人間文 | 徒中に於て異彩を放ってゐた、 文述の名士であつた。 双述に熱心 職にころがつてゐた。 る態多の文書を雲蓋し意念ティート・・・・・・・ 歌宗に熱心 職にころがつてゐた。 | 「日に天主質戦や耶蘇奴に廟| 年二十七であった。彼はその祖父 別され、その多くは死刑に属せら に歌作賞隆を有し、その一族 れた、賈嗣永の處理せられた時は **第一と辞せられた李家煥、龍に辞** の如き巻くこの被案大派の下に臨 古今に冠絶すと呼ばれた李嶽道 スキー型が至になってテントの片 |とに一致し、何を食つたかを調べ 角、三人の女際製生先生連続の結に考へた作り話であららが、題に の病源であるらしい、大きなウイ 調べてみると、果然、観然、晩町 るためにテント内をあるらこもら 果何かの食ひあたりだらうとい

せられた全南に住れ其叔父には立

設制永は幕末の左道淵郎の地と二

米の文豪丁若鏞兄弟を有し、

の概多の文書を受譲し間然大主

くとうできた脱毛やうこして至ら の分数に被い努力した ちである。 ちゅうにはなどではて脱滅したもので水中に定め 歳を重数能として避へ来り、内外 卒戦を見つけて然つたのは彼女と 主族派恭の死後は己に反屠派の軍 立つて戦闘を握つてゐた南歌の首 活記の根既に厳し、外しく既然に 当時國主領組は幼にして政務は正 ましたくれ 『なんでせら。こんな子供のくせ

の前数に概心努力した

にウイスキーによつばらつてんの

前板を挽回しカソリック敦幽を建

を北京の天主教本部に小坂して

設は空間政策起るや直ちに鑑美し 立すべく企てたものである

施川に到り、

加はれその肌に附けた吊井。一通

声は戦闘に提出された。文書の要一

公台市将中間間によってその怪文 ・ 並嗣水の吊告も赤その例である

て巧妙な被指文書であった、 てその字形を現すやうにした極め

は押収された、怪文書がそれだ、時一般るのみでその成功した例はない |堀川 | 怪叉点が無かつたなら南瀬名流七| 十名の大鉄道は態度しなかつであ 系も若し周文説の潜伏、黄嗣永の 頭した時であった、從つてこの収 らう。由來怪文書は世を鑑し人を 分のテントにひきかへし、日にふ と、いつたり女里は、いそいで自 くみ水をして来て、それを飾つば らひ少年の顔へよッとぶつかけて 『水でもぶつかけてやるといいわ た』といふだけですんだが、一方 彼女たもは、錯局「英趣な目をも 遊だが、このやらにして山の一 源しい語といふのはこれだけの

種文書の概行は言識取締の反射と 取扱はれたためその裏面に生れた 氏領師の文献が除りに形式能に 外力を借らん

黄嗣永の怪文書

基督教の宣傳

N

とす

老職徒をして全く絶常に陥らしめ であった。この文母の耐見は南沢 以て布数を強化するこ て布敬を計ること

監の地に立たしめ共政**姫に**楽じ を置き演習の第王を真て監討統 護度帶兵五萬を借來して兵力を一〇 フランス本國に請うて軍艦

する病気とっきつと変ひあたりだ 当らそよ、脳経脈はもつと大人の よ、翻談幅かも知れないわり 勿論、こんな頭描はK君が話上手

一度別はもつと小さい子供の偏頭

上等の布数を自由電荷せしむる上等の布数を自由電荷せしむる人が、 脳も平常人よりずつと多い。三人

とになるが、どうしてからいか「ら、不思議ならめき騒が聞えて米」して悩ましい蛇の夜の深い続心をへば例によつて怪談ものといか「三人のテントと聯合せたテントか」たもになやまされた良が、何とか るかされて眼をあけ、先づAなる→見てもらび、腕の綿をはかつて脚 女暦の罪さんから何ごとだらうと | つた土に、口ふくみの水をぶつか 一般は、山に水で騒合せに若い彼な 一ほどナンセンス芝居習きにはため 番シャンの女だったぜ」 云ふ「劉智等」に正い超低過を出 柳曽内で行はれた、「低温度歌館」ソのサウス・ケンシントン科製博 物を演るより、夏は、山に来てこん。 シルージュの古い芝居小屋で怪談 と、うれしい口頭ひをしたをいる 述ひに彼女たちに手をとつて服を のめないウイスキーでよつばらひ 遊覧しようと一張をおへた結果、 目だつたが、サイモン破扱は脚類 酸®」と云ふ時節概塞に結構な趣 なはなしでも聞いてゐた方がよつ けて聞ふことに成功したころこび 装置で華氏零點下四百五十七度と 世界で一番悪い艦しが経近ロンド

災は劉逵が出たり、お化けが出た一十り段込んでゐた彼女たちも、

5のが蛇南さになるのか別らない。た。歌の山麓びにつかれて、ぐつとになるが、どうしてからいふ。ら、不思報ならめき聲が開えて来

た。認の山湿びにつかれて、ぐつ

芝居もの、夏――明しいお語と一る夜のこと、異夜中になつて実然

翁

眞夏の夜の夢

りするので『ぞつ』と懸分をおほしまり瞬の鳴き難がはげしいので語

大中 大中 種 1 50 25 17 セセセ

あせもに 又、柔肌のお子達の

あせも防ぎ素晴らし愛護にお用ひ下さい

く健康な肌にいたし

要快感は格別です かを妨ぎ、使用後の の墨理作用は剃刀マ の墨理作用は剃刀マ の場理作用は剃刀マ

髭剃後に

設方の

化粧下に御婦人の と大評判ですと大評判ですと大評判です。しみを妨ぐばかす、しみを防ぐがあるとない。そ

をりますの

薬用クラブブラ 関的を達成する 目的を達成する でであるの が果この刺蚤の 御愛用を頂いてしさにより益々りるにより益々

拋蒙



防御ませる。みりらかは 医假别鼠 下准化

抱へてある木桃業者の打翻は相

一人では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

を流したに過ぎず、多數の礎本したため去る三十月正午まで約年

破光啊~ 加磨里岸、金正浩、三島

の臨期就は一百一十四ミリ、坪路上であるが今年は長らくの旱魃で

完成に近いため、二十九日夜半に

近七名、田口晋明指職長端につき

「遠し大正十四年来初」乾き切つてるため水引きが早くそ

【汝山】三十日領までの彼州地方」めての雨量で昨年の大洪水の時以」れに汝山の生命線たる堤防が船

安堵の胸撫で下す汶山市民

交通や一部は復舊

作男の四氏に決定、去る三十日附 「関域」両工育設所の特別設定は して町一ヶ月個表しこの後題に躍のであるが今年は上流の腹が大破

特型議員開城商議の

木桃は七十萬尺編四外で土耳下仰。 れてある 「一月午後ごせかり多言など推丁・ 【悪山観】年々高英する思問観の「だ話界七五年にない不毘を観測さ | つて蝴凰中であつたが、妻る三十二

木材業者の打撃は大きく

不景氣な木都惠山

名士の智成を得、本版の移局以、 援則信相、政監禮捉その他多敗語 田間總理大臣、鄭靜別的大臣、憲

し角かに守能を繋ぐことが

り建に能亡の記題に陥った、 と

ため脱卵的を損傷して限力で振行の対象を内を初められたが、まれてみた本が苦掃では対す難行の対象をの他無難各方面の有法、まれてみた本が苦掃では対す難行の対象をの他無難各方面の有法、まれてみた本が

東指の援助によって

漸くその

整理 いもに赤蛇の戦弾に着手、極限と

却のやむなきに至り、由緒はい名 を擔つて王裕勝即の土地までも費の語をその計を辿り、巨龍の低か 脱すべく世間に通じない個語が異 記判であるが近年時代の追談に関 の数での種 脱したとこ

の中郷院計聞、本版登画長、各道「歌夢南氏、各干画、李宗師氏、千百島が近畿哲、今井田総務総監を初、初め金宗河氏四馬側、村民帝、田副総し、傍峡村総孝氏を解於に撃」りに開では鄭長代疾南の三千画を「麒麟し、傍峡村総孝氏を解於に撃」 四、李仁細・李列國、趙用旻三氏の各五百四を地に認施五英四の記 が引戦き架掛に飛走中である **正紀三郎所釈釈は弟恕人は三子古一行利なそを知らず非出薦人の手を「鳥し霊殿たば舞忘起を説明して」の声音暗劇代に社感した正紀三(黒境) 明珠説教治者内の十一年 | てあるが宗釈家中にはまだ判聴の「地走演徴ではこの時代錯誤の企圖「蓮歴があつたので観興指形からそ」** 開城の所得稅 總額廿四萬回

では今回四萬国を投げ出した金 が高氏はかつて中福院認識に任 で同氏はかつて中福院認識に任 で同氏はかつて中福院認識に任

浸水家屋約五百月に

上り

者 計 丁

する等その他公共事業に関する関の百畳を投じて青英會を組織使々多額の皆屑をなし、四十萬度々多額の皆屑をなし、四十萬

容され一年半の服役を終へて配式は昨年一月別都里で同胞物所にな 出所するや直ちに桁内各集協議を

不敵な少年泥棒

お世話になった

少年刑務所を荒す

名刹五台山月精寺

開城少年和沙角領域部に侵入し當「日吉田海軍に澎湖された、金道甲」「城域、原州南部の既有場與狀況直開城少年和沙角領域部に侵入し當「日吉田海軍に澎湖された、金道甲」「城域、原州南部の既有場與狀況直

七金質甲(しけ去る)十九日窓夜(窓明子を破つて窓走したが三十一(開城)窓出郡江西面甲山里八一(直程守暦)氏の窓時訛一個を部取

一産から救はる

脚南の篤志家金溶禹氏は

囲が起送で所以一直同以上配領子 防御和十三萬九千四、稅湖十五百 間部を示してゐるが大口的耽古は **十九名、所提施五十五百三百四十** 年度に比較すれば時期人難二百二 風七千三百十回で起額は二十四風

肉啄共販 長溫郡農會

> き中の周遊誌路を職理せんとする

移入ご法度 地各方面で (威典)内

間等では適萬の代他を求めて移標を計画中であるが形ではこの大照 寺勘敷地を買収してこくに理想的の職業総分所を新築すべく月下株

めその境内の大学を買収された大

根部九子三百九十一國の各々

田福祉近年階層歴世館を一及び南公家から特別の御下肥かあ

(建四面学石川、企監証

増進のため肉豚共同出荷を質脆し 「 温」都に行では金豚家の福利」

大部分は清津を経由してゐるので

積極三獎勵

四国を投げ出す

「ひかり」連る

荒し、果如を鑑んでは奥飛ばして |三十一日午後一時五十九分野下り 孫知事観察(番川)孫「震撼越上り特急『ひかり』は四分孫知事記案

散物列車が四分配者した」め汶山 一段出

ため去る三十日出載、二日盛任に隣接場中郡に至る道路を凝綻の

擬をしてゐるものが弱いので慈熙! に紫脈してゐる、器態は既良能、

| 東東の生歌神智に比し四別内外は | 百頭以上の出有能説を夢て龍佳郎 | るべくす五貫以上のものを歌範す。| 東京の民民してゐるため取引的談と | 館では実践の悪言籤能を闘り年五 | 無趣の化校交は去歌談で簡重にな 一つことになつてるる

附金決算 咸中設立寄

費三英國の起放認可申請とくもに

二十名に對する面が翻踏頭は即断

凉しい架橋工事

修了式舉行

如果の必要に迫られ、部川到達を る砂糖者を収容する關係上、急運

長満の面治

首して持つてゐたが、水道工事

四を投じて新州することに決定し

七坪二合五句に木造不家建西新引

第第次としてさきに「一般八萬五子」 百四十二年、第二市場は戦地七百

平多处、亚鉛引擎板針三種建坪八

が発する日用品市場は本年度新

[羅連] 外侧に店舗同貨家五十戶 | 五十五坪八合八勺に木道二院建と

道から本府へ申請

工費の起債認可を 用 加 扩 流

時中であるが、有市場は都融によーることになってゐる 日下常嗣に右丁賀の起伝認可を申| 鑑校第二棟建邦二百四坪を建築子

の一般帯別金枚支決算は「意興」成典へ成単の主要技能である。

現金として維持さず、現在値付 現本として推行さず、現在値付 が対策の用水に不 が対策の用水に不

し易がむ生りよるず案 内水稻植位酸に作 丸ナ協會から發表された

復強の見込みである

脚中島十一日子間里では西 いては岐州語で調査中であるが第 れた、今回の洪水による被黙につ た汶山市街も水雕の恐怖から数は 完全に引き切つて危険に蹴してあ 毎に城退し始め、三十日豊頃には 王り改山平野に氾濫して淑水も次

日内には高浪浦、臍城全谷間も

外大したことはないらしく定期自

が作の三書も

管内を巡視し不良飲料水や飲食 著では近く署長自ら随頭に立つて

開発病温壁の恨れがあるので地州

【汝山】臨地江池高の後を受けて

傳染病豫防

する智

も去る廿三日來の降雨により水 三道の水稻作況

紫銀六十解名は卅日夜咸県府館

展異] 展界師節學校設置否防學

早急に募集

咸師寄附金

つき脳道を重ねた結果八月一日か 観彩に参奨、寄附が集の具質系に

ら一斉に活動を開始し同十五日中 【威興】珍しく今年咸南の反戦記

反戰記念日平穩

より帰任
一芸茂山郷山茂

▲岩兀園雄氏(茂山製材町長)三

輸役)三十日茂寶鄉豆鷹出林業

安理邮前有着沿層五場氏に密期状 題品することを申合せ午後一時

| 引水の地域による複雑機器で変率 | される前継機器局も八月下側には開発|| 南水利銀合 | 千五百億町歩を含む | 「観路観光監まで中華の通行が出来

是非網久へ

は威南道當局でも歌甚な同情を沿 その災害を増大する傾向に對して

は完成させるやう前では既に下事

高秣山の周

鰛油入札

工事はかごる

節山路に落札した、

十三銭で朝 【英興】爾

②特盤投盤の元の

② 網久商店

展異] 定平那晉極、文山、題及 修方陳情 金津江の改

汚津經路を削除

時代錯誤の決議に對して

地元では强硬反對

情費を字垣總督に提出した、金津 の三面民は春期及新上車素音が外

電子型 配に明配された内距薄型 ある、なほこれに跳しては日南型 を附語が決、引起き能調整として との一項が加へられてみる。 銀鉱師に戻ける最初の到着項、 に「肺臓型路から清池単路を削除 は往底時に戻ける最初の到着項、 に「肺臓型路から清池単路を削除 は往底時に戻ける最初の到着項、 との一項が加へられてみる。 銀鉱師に戻ける最初の到着項、 たとが表面に触れて、清凍は路船。 るので黒線方面に對しては清池社会の素葉と軽金削器型の新版のた に「肺臓型路から清池単路を削除 はそ底時に戻ける最初の到着項、 をの素葉と軽金削器型の新版のた には、肺臓型路から清池単路を削除 は一生底部台 をの素葉と軽金削器型の新版のた をの素葉と軽金削器型の新版のた との一項が加へられてみる。 をの表葉と軽金削器型の新版のた との素葉と軽金削器型の新版のた との素葉と軽金削器型の新版のた との素葉と軽金削器型の新版のた との素葉と軽金削器型の新版のた とでする。 十四里、その流脈は登脚、文林の江は咸南でも暗雲な河川で流長二 過三田、金山江南貴政省四行の開 九名を代表として三十一日成用道

お役所と化す大照寺 早期 単二年間日

問題工事は豫定の通り進歩し既に 【青世】 脳球山のドライヴウエー すれば十一銭品である 北十れば五銭盛同月の不定量に出

は阿内二九ミリ六、第一水湖地四 九月年即七時まで達り観いた昭量|水源地の貯水は廿八日より秋六萬||水源南||水戸北京東京の東京の北京の東京の東京の北京の東京の東京の北京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東 『ミリ五、第二水源地四五ミリー まだ二雨も三雨も 欲しい南浦上水道 一越した、なほどんどんよえつ」あ トン増加し折日午後は八萬トンを

沙戲漢城銀行

概管口呼京城二〇五番

店 京城府南大門通一丁目十四番地

電話本局(2)二二六一番

と明れ頭かの間にカビだらけになる。 るが前水までにはまだ。「雨も三浦」

「振巻京城三公のる竜の竜蔵代原玉のここ番が、城長台汽車小林又七朝鮮地圖部部) 野地圏販賣元は(型録進呈)

海と山の眺め海雲台温泉

(釜山郊外) 山

豊富なお湯度は

和洋の設備

屋根が崩れ落つ 三名下敷となり 一名はつひに死亡



成典、典博、定平の二署管内で は非年の反戦事時の一看総 念まあつたが某事件の一看総 にはえて重き比も困なかつた総 果だらう

と低事等経常局では見てゐる

大豆と籾共販

今年はリンゴが高

らが本年は結婚期の天候不順に銀 | 交されてゐるがまだ綴つた取引は 三割滅でも南浦は大喜び

『全國的の不作だから値は服るだ一さを起してゐるこれは天候不良に

が高増し、毎日外来責名を超え入 「費川」道立番川資院は歴史書

子古舞びをしてゐる。中でも信し 選者も三十餘名に建し時代は柳 のは小児科で今年はお候不順の

ので子を持つ郷ごは生态が肥要で

めか悪性の影响が近行してゐる

電子 200 年 2

京城北米倉町九四、뽧網經中層間以上之北八十二次 婦人 污吃 医原士 松本家治院 全醫 李 敬 信

筏僅か半分

三十一本山では全住時の酸一金を撃撃したところ畏くも息の百

【威興】洪殿郡設曾では同都の主

部工質五手圏

【教典】屋に興南朝空周友の樂部

赴戰高原寫眞展

野務局長の航旋によって特別援助

ちやく危険を発がれたが小橋梁 | に大打戦を受けた外下場は船と渡 | た

で残金九萬二百九十二四五十一鐘 割して咸南道融に納入すること 圏十一月一日四萬曜と三回に分 七月一日二萬曜、八月一日三高

お残当二百九十二四五十一銭及 5今後生ずべき機 金利子 専の協図

合質調を同額確全で開館、出席政 羅津學組會議

がリンゴ島さんと果腐職業者は、「百九十五程に比べると著しい散形関戦で、監督家にとつては恐慌だ」数は大十九程、前年同期の二千七 昨年よりや上限く平年作に比し三二元にのみで二十九日までの検査器 られ収穫は股初の豊意を集印やすったい、現在出種づてあるものは

春川に疫痢

堰の故障と減水で

切り前しその他の懸為(湖により) 複無は家屋銭水到坂龍に高部でお、皮に響で見煙金を返ることとなっの漁職も丁事前員他「本籍の銭房」も繰りつとけ不安な一夜を纏つた。し中せて被警論を高端、披雲地球「事中の羅州市館は大半歳水」 観行は不能となり、神田町方面の では空殿はを現め深地まで鬱霊男獣氏事中の羅州市館は大半歳水し 観行は不能となり、神田町方面の では空殿はを遅め深地まで鬱霊男獣氏事中の羅州市館は大半歳水し 戦時は なんど 古史に本典は外の日野田) 新城景となり被認過大である。 ○

汶山平野の洪水

全國的な減敗で大助かり

朝南浦」名産納南浦リンゴはこ

劣作品で十條點の展開を明き赴山から三日側京城三中井にその優 に提応望を眼能した新典線道は一カメラマンを機動員して赴戦高度のブマテニア

語的政のもとに極力防止に驳

「周山」 郷地心部の土木建築界は

建築界大営り

| 置を関値してみるがその主なもの

てある語言事だけで約1||百五十萬

馬山の諸施設

□ 馬山中學校建設費▲二十萬國□ 港灣改修工事▲十

中には被绑す四代もあり例至歩撃。 株氏が二十九日着社した てゐる『『三軍だけで段』百五十魚內の歌窓遊戲事故がおく神中八月「佐健氏神・二十日帰鮮したの」を記出してゐる、即ら現在決定して健康神・二十日帰鮮したの を記出してゐる、即ら現在決定してはいず意時代

事故頻發に備へて今月中質施

釜鐵總動員の嚴重

「当山」 関工物議所では外国航路 | 些職を作べるに至ったので多年版 **観宵、南洋、濱州各ラインの定 | 築が歴望せられ、近當局へ朝築申**

南洋印度の商圏獲得目ざし

曾議所から本府へ補助要請

一寄港を維

航路定期船の

頻球館跳鬼点體的嗅輸站に衰襲し「が名態の月轮魅ブールやその鉛並「掌を呼ぶことであらう弱師を紹介するためと・で・1の | 本去る四月 | 鰺ガメラにおさめた | 銀羅に喚する波都仁川が東部の人| 年間の風光をクランクした、仁川 | 々朝鮮の夕べっに公明する恋で、

/ 朝鮮の夕べ。に公開する話で、

恩まれ製作である、西瓜は昨年副洲國方面へ

【木浦】當第名態西瓜や眞瓜は過ばの慈用に

にドッと押否せた、青い郷兜の水瓜銀は過数

以上に及んでゐる

交が握を切つたやら

鑑は来る十五月日比谷で置される の基回数ケ所を影覧した、この映 **楽仁、錐沓するブールや製の仁川** ランクするべく、三十日世間おがの風景が譲者であつたため呼びり

銀幕に躍る港都

仁川の映畵化完成

十五日東京で公開

政物の集結解と船投信地配協の一簣地を見ず地在では望み海の環境

段組训修氏 全盂関金宮 十三日 脚即京城 何上女子實 紫梨ゼ々

釜山の

十萬國 阿利西斯曾山西是

である日下近郷上市中の治師舎が

解説は公開堂を外殿する記述の校となるが、所としてはこれに副語

時の建治であり腐朽著しく、政に一 |周山||日間地域合は旧田正明書

を行ふ
「単生でには砂糖を子する館、な仕」
「単生でには砂糖を子する館、な仕」 立門通線校の新戦地は七選町の茶

開放から移物に決定した南地町公

考究する智

退んで説明を見することに決定、

ところ人選択なく選外律作三覧を 【当一] 府で聖集の府民歌十九

佳作が三篇

【大町】本事度は外にいて山川的

移轉先きまる

ばい道内三十二ヶ所で各を二日 湯 | 忠北道では一日から八月 忠北の婦人 道内各地で 八月中開く

大朝 化敷脂・ 曹道 昼夜 歌迎が になった、受膳者に居生指導部 るになった、受膳者に居生指導部 る

脚、婦人の原外が動・節光貯金、 日産よ起帯へ利に銀付された機・婦との選・近年は強の質・元で取割へ中であつたが、 去がり 地域・地域・田・東・原や・東を建す。

社務所の工事は後廻し

被疑者既打事物のほとぼりまだ帝」(観響) 低風、新物器屋段の常館

剱野梁▲一萬五千圓。幹線道路」の航海所の下軍を中止し府主木鴻二館景梁▲六千圓。 消防城中央路 ことが明白となつたので、欧菜中の 段、海殿や韓城は野珠寺を加へ」れ 一般出線の的となつてる 開発した、紫局帯の旅によるとこれによるとは野新湾館は本紙 行はれ、一般出線の防となつてる 開発した、紫局帯の旅によるとこれが富力のの計畫通り工業 面配程度 東 使守っこといふ嫁人が総登録を訪 ろるぞうだが、何れにせる後に初めの計畫通り工業 国際によるとこれによるとが特別では、東京では「一大・大田市大に打造しる」と な事性が数を同語の履はによつて めきられのにまたしても同じやう

たので、同署では直もに取調べを

と断者の診断的まで湿へて那へ出

出され歴員金子洙から殴打され、から甲収をよって、自分は密醒の環境で放抗落に呼「膨生」ることは審性室様だと一般自分は密醒の環境で放抗落に呼「膨生」、トーン 統營皆局非難さる

落壁に若干の研究を望みたいも 例へばば戦の減をのんでもよいかなど動打者として攻撃陣の中と 。落つけ々とどなつてみるよりななの色が出来、中対、山口の啓君 。落つけ々とどなつてみるよりないの色が出来、中対、山口の啓君 はくべきはでないだららか、既に不扱であつた打磨にもやゝ自旨 往くべきはでないだららか、既に不扱であつた打磨にもやゝ自旨

臑の大會を控つて

と期待を許すことが出來る いても自然の力能を迫するだらら 歩を示してゐることは甲子鼠に於一 ら覚々たる試合をせよとか、既は例へば誤戦の謎をのんでもよいか 減せよとか、選手諸君も自分の持渡力の総てを観け悔ひなき戦ひを つてゐる力だけは心理りないやう

全鮮中等野球に優勝した

苦節十五年の仁商ナイン

更に附倉したいことは一技術上 管理的問題である、特に大猷合に 角型電を超えて甲子臓器に行つたに甲子臓で関つて来て命しい、脳

野議びし輝やく侵跡駅を先回に五

めに…・部情を窓たナインの間古

は燃えてらら

までも概念である たとか、自分の力を存分更ふこと 来ず後になつてあの時はからだつ

が、意思れがして十分な難ひが出 配方の音牛一頭は繁殖症で二十一 日覧死したので仁川署では牛殴の

戦中卅一日陽氏と物用した、暑で疑いを抱き道衛作職で可傲慰を試

社別を施行することになり破解中

【統營】去る廿二日から水産學校 で開催中の慶南道主催水産課營資

大邱土木建

評談負責を開催、引継ぎ役員諸氏組合の創立開業士五周年記念日に

府 堅 辅 欝 牢 双项份责金町一丁目一一八番组 助優 價 音 優 輕 良 垩 快 國 産 禐 (集募店約特)

、するか、も辭せずと額々進軍

炎熱の滿洲へ木浦瓜

顔を述べてゐる、木派四瓜の産源は年十萬圓 も際山行き々京城西瓜々と早蛯りして市場に 質を選軍してゐるが、木浦四瓜は京城方面へ 来報能住立の西瓜列車で《水火》も許せずと

子の背向にまつ色である子の背向にまつ色である子の背向にまつ色である。

委員會を開く

日平均百五十貫を輸送

| ない。日本のでは、日本のでは

量の歌増を示してゐる

【仁川】 酉丁賣職所が街都の紫紫 | 比べっと数量配給ともに四個三分 松贺に一萬八千餘四、町年同月に| に旺盛となり、西工語説所の調査

専から顕工領域所で暗線。正副奏「きにつきよめ路部数を辿める窓」 観楽観覚音の委は簡は「日午後四」近長を決定し迎に今後の運動方法 漢藥の丙地進出

【《年】縁近微蒙の内晦霊獣が類 | も卅一月夜半から | 日朝にかけで上記縁とたり、西江南瀬町の親宙 | 二十一ミリの大樹あり、暖かに第二記録となった 著しい激増を示す

【大印】語丁寶語的では五日から 大邱で簿記講習會

豊国のよ





14 私科医病 拉 院院 OR 科院科科

而製調

一万目 (郵便局前)

京 抵 本 町 面本②5017番·振舊京城346番

支 店 京城府迎路 電話光化型(3)長|580新

期間中半日は形路を記録するこ 即した壁材により護語をなず皆で家屋の清潔、奈地の利用や質地に

惡許の稅務署に

れる血変物は昨今の不漁状態を言いまし、「当」中央卸毀市場に水場げさ

[に用] 雨あがりに塵來する優築 | く總額を開いて一鵬解散を決議し

赤痢の跳梁に備へ

病に備へ特に恐るべき赤刺の跳梁。今秋収めて財骸法人組織として協

この状態は常分散くらしい控號ったださの組織されば込みである。 魚質此一手であつて発失、類以、

辿らむ永守浦田張助晋内に十七箇|

門と足っ間でで町四段立の必要に

世七十圆

活氣づいた

程で三十個内外が積み出されてる

愈よ生る

取扱ひは強果江下流の下端子

【永登浦】大京城建設に伴ひ編入

された魔梁津、永台浦一帶も街町

洲へ行く鮮魚は冷蔵機像で些

から四十二回相場である

大国から十二回、うなぎ七十回。所の町窟を組織すること

は

釜山の鮮魚界賑

を防ぐ馬、署では十日から三日間一會を作る路 こになつた、アイスケーキ、夏の田郡を喚起すべく野節を打つこ 制度を行ふ法である一方機病庁 正物をはじめ不課間別に配を光

大邱商議部會

入院隨意

酾

島

馬肯院

| ※ 受補 | 署では最近府内に赤角 | の毛の利用につき新たな服党をす 郷しつくある折棚同器質内に 水登浦も大童 一位、工藝行等所設立、韓山監督局 九日午後四時半から開作職品で用 認致に全力を证ぐこと、歴別利用 【大師】商工質識の工業部語は廿

密醸の嫌疑で老婆を殴る

は表だ四人の影響を出したに過ぎ がすべく」際影響技器が関すの下に 百井上化ら剛頭に立る智度を書館 につかなは今後とも選師に重金を 古、有害飲食物の嚴密な取締りと 金泉のラヂオ體操

同支局設制等所数大

力强大▽

物師進星

御用命は専門店の島田・

カメラの

日邸池量

地雷九六目丁二町治明府城京

香八四'三长局本版印 番儿一九二 城京暨版

昌誠田島

卅一日は午町八時半里見飯単正の【大町】道内麓家岩豊館産第二日

動がからはじまり前日の残り注意

過ぎ時命せん探に上内版像防禁をも一致変物に出記しかみ過ぎ戻い 後の督職を但すと共に一般任政に飲食店料理監督については衛生施

展用し相互に対象保持に努めまし

管内状況報告と一般の質疑を行つ 指示事項を討議、午後は各階長の

挨拶電報 川原から 「大郎」馬 動を命ぜらる、宜敷く御師

> 蔬菜 閻聲 器

膺

斑嬰

II

會

由现代群期

會 商 明 泰 館 所 張 出 城 京

八一ノー町金市府城京 香一〇三三長局本店館 番三〇五五城京座中金貯倉場

あったったり

畜牛五百五十頭に

仁川で豫防注射施行

は生成する猛烈なものである

水産講習會終る

を新梁、二日午後六時から有力者を新梁、二日午後六時から有力者を新梁、二日午後六時から有力者を新梁、二日午後六時から有力者を新梁、二日午後六時に「神器」本町一丁日洋品難四、伊

バイン裁縫機械製作所京城出張所

電話本局長三三〇一番

原京市御野川昌西ヶ沢和



(日曜日)

二月八年一十和邢



沉久性歷光而管





日本エタニットパイプ株式會社

東京市麴町區大手町

部维纳件理性





支店營業所

京城府永樂町二ノ七六

電話長本局四八〇一番

雨後の悪コンヂションを

を出して大いに意気を掛けた。超中學級の驚異的記

3 金克獎(養山)十一砂三◆山 相關(仁商)5内田(龍中)6

(整德) 五四砂二3季熙

一選上四五分六 (大會

高豐) 二八米九四

朝鮮中等新記録出す

氏能に平消解長にた々配納電を

も遠しとせずベルリンに飛込んでせるやうにと道々二手里の行程を 来た出口氏を駆長とする原健館の

一行七十名はスタンド中央に郊取

を光輝あらしめるため、朝野をあげて設立準備に取りかゝり、本年十月急軍軍部の帰國を得つて再ちて飛ば軍部の関國を得つて再ちて東京軍事の地を選びことによった。我國では晴れ大會の

来のプランをの疑問を得つて直ち

日鮮以上に達し、平均百五十年、 置南道の間縁は最低古耗、最高二 の超光によれば、南部一帯に亘り 干一日午後千一時より一早

中だが、観金ま至ら枝割の制明せ

七○戸▲保管屋四戸

千五百萬國(四五百萬國は經歷前史)で各國諸事に聖する經費は總額一千百四十萬國である土地院をして、更に研究を重ね完璧のものを作りあげる、たほ常上面まりムビック大院の總環算は記載を追溯を認定、本際能調整開発する總であるが、嶽に中心院館であるスタヂアムの建設は従來のプランを

制覇の勇士四千八百餘名 加國五十三ケ國に及ぶ

我精鋭堂々ご出陣

鳴り響いた。第一回國際オリムビック開館の歴史的一瞬目 た(岩銭カットはヒトラー豊美) 人間、七ッの海を越えて撃まつた五千の職士が、今ぞ進軍の禁錮 丁萬の魏策を集めた蒙肚の大スタギアムに、世界五十三ヶ國、五 異の眠は、耳は、 本選手

二百四十七名も世界征覇の首途とば り意氣軒昂、胸に真紅の日 し包んだ 世界人種の 一大縮圖だ、わが日地に操り出す 雄々しさ、これぞ 熱と力を その胸に、その瞳に祖國の名譽を祕めて平和 ひのブレザーコートで この五職の思明録るオリムピア塔に注がれた

用意を整へ成功を取す

出場となるやも知れず、その旅行 に営へて三十一日本国政府との間に到着して居るが大館を一日の後 明備委員を設け、設立を急いでる 利組入原域八十二町に町倉削立の が城村では行政区域の歴更により 行強ひを生じ、この結果大資不 は各方面から注目されて思る 弘立學校の神能不多理問題が選生

福島安全部より計日福島安全使命 の問題を目標とするものなれば、 の階級を訊してゐたが、このほど 衝を重ね、羅馬敦皇原に報告、そ

工口虫糧港 音パイナシン 光朝鮮の紹介

監由家の管野さんで通ってゐる人だが、三越の管野氏より製世流の 同好家は眺れを惜んである

京城在伍は十八年に及び蘇計部長 出分京城部赴出する、震路さんの

ムピックチームは難にベルリン 「ベルリン一日同盟」 ブラジルナ

ラジル大會

▲東部出張所 同一六、同

誉野さん 英轉

不出場か

加加

羅馬教皇廳から命令 に参拝せよ

本は今度東京 三日午後二時

の競野歌一さ

新聞 (安加·弗西斯森)

dreed or deal

忑 をンティ

宣并物色模心 中醫院

京日泰内

•ф

愛會は 百五十人迄の 大ホールの受闘 が 灰御 同伴 に 御宴 會に

一唯城京

十錢で御滿腹の特別料理致します例へ一品でも

料は頂頭致しませぬ

内地各都市や満洲で 京中で祝賀會

京城中學校では五日午後四時半か た、館製は三圓、學生一圓 指中の髭初の知事で母校では非常 請威北知事見繼高信氏の出身技 て同氏の築職を配することになっ に求んでゐるが同窓生は皆こぞつ 問語質を聞く、見嶋氏は京中出身 同技器堂で民質的を乗れて同盟 五日同窓會も

選託をは何れも降雨のため均水して 近は何れも降雨のため均水して 近は何れも降雨のため均水して ある 朝鮮ホテルは

があります、是非一度御来物をがあります。 日本での行列される小山大郎と相俟つて益々發揮され、大師と相俟つて益々發揮され、大師と相俟つて益々發揮され、大いの間と相俟つて益々發揮され、大いの間という。

こませぬ とうかの 一割の外決しております、 是非一度御来想を とれるのがあります、 是非一度御来想を

附旭町

T/

但之內地人廿歲以上

電話本間ニセー五番 が岡底館に成形黄金町三ノ一一五

本田さんの義學

松山地便本局裏 釜山府大倉町

御泊村 二二四半

本来である。

「本来である。」

「本来を知りません。」

「本来を知りません。」

「本来を知りません。」

「本来を知りません。」

「本来を知りません。」

「本来である。」

「本来である。」
「本来である。」

「本来である。」
「本来である。」

「本来である。」

「本来である。」

「本来である。」
「本来である。」

「本来である。」

「本来で

港ホテル

御倉市一分でで 御木 郷 〇 七五均二 サービス料 一間

坂西町町御殿隊及外軍部 一部派及、平田田第二十師殿登課長 ふことになった、申込は府職が出

脱脱を認められてるたので、酸物 9、6 東京俱勝へ 全國都市對抗野球

ダクロー

特别拿贝

中占實物

陸軍科學研究所檢定品

用靈

大の 社員的物内地人に でであれ
一京城資金町一丁目 「京城資金町一丁目 「日本町底火災保険増建

ij

一位。

院職で 植原李大郎 石油質却ス 出語の 大機 真流鏡鏡

リーロー におの山五九八番 コマンダー 京城府南衛町九一 アース 湯澤商店

的原益 グミンス、外用化 病康史止 20«-¥35 40 ··· ¥60

いふ興興たる姿を現し、君々入国 七名の大部隊が報館に恩賜の紺の 風色のパントと

加國役員選手堂々入場、我が日本 はジャマイカについで第二十七音 生素選ドイツを残りとして診

果原に結っ大日本組育協関では 日正午四時印事的を聞き協議の

リムピック委員長ラットル伯、ア 副島南オリムピック委成、オ ツクを一関すると日本選手を励た 次ぎのオリムピツク

スタンド周回高く参加回々的が周 ドイツ國歌が奏でられ、

の行進曲を発し、役役全部が列艦で、ヒトラー総裁立つて

ユトラウス作曲のオリムビック で各属選手調代表として制回重量 ツよりの対信を繋で、受験機の団ユトラウス作曲のオリムビック で各属選手調代表として制回重量 ツよりの対信を繋で、受験機の団カの大き、関連の関

さ、くびは対応に有償して、エトラー最適立つて、 大津のマラソン優勝者ギリシャの開発を開除はワグネル レフルト博士の式園始望音につい 短じ、大いで第一周オリムピックをあるまどに言うます。 瞳鳴り・聖火は高塔に熙す タ大館の開催を宣言する | 受コテミスのご隣、 ユーーート 産。 | タ大館の開催を宣言する | スピリトン・ルイス氏はアテま

| 一百の間に順は一層に戯だれ、ツーの技をヒトラー機能に機関・次い| 上る、間もなく一時四十分、ドイー覗くととはするで、五輪壁は中央に高く| 膨血でオリビンヤゼウス神発から| 吐たが、午前一時半過ぎのし機能、水郷が酸出してゐる、この羽は一ク大管の開催をは言す。| 長コチスス氏に暴かれ選手機から| せたが、午前一時半過ぎのし機能、水郷が酸出してゐる、この羽は一

最上コンデイションに技師を終ば

総統開會を宣すれ

蔵が取られたが、眼傷そのままの いでオリムピック村日本選手の別、即いて空医雨を考し怠慢の前に停む影響が送られい来【に用電話】焼ける

本月上城中には金割完了を見 成立記・十六、未完一が誕せられた一点城、元山、平間、

鮮の底』を封切る朝鮮の夕べは梁 観光朝鮮の紹介映画トーキー『朝 出版戦闘を東京本語で聞き、引起 | 脚する護頭能に崔承忠|| の館典

薬師があり、一方三越では剪餌

以上観測所像報係単田技師の話、

京城領鮮ホテルは五日から十日

外人以外の客の投稿は不可能とな

店食館はあぐらん

なほ三十一月午期十時から一日午|

微におけるラフール側の宮原を髪・一壁二枚万筀三枚を髪像すること。 四時四分からこれも十七分で委員。後は十敷名の儒真が亜目徹野して 後は十数名の保政が連日鑑智して像、素弱らしい成績をあげた。今 鮮の夕べを開催することに決定し

十七分間で愛像完了、次いで

原書と同様に受像

な髄 氾濫、鐵道の警報

の実現が制帥の東海岸を悪し、 方は家国の『家歌報報が一日帳前所の実施が最近、日本のところ北西(連絡者をとる検察 である、が、線製朝鮮阿立を通 である、が、線製朝鮮阿立を通 ところ北西(連絡者をとる検察 に助から解放されないだらう である、が、線製朝鮮阿立を連 寸熄みさうでない

とて、部下思ひの本田本町署長、

の無親を出してゐる、簡鮓の諸一とになつた山、木浦、松麗の五地方に凝明一日的で南州原鐵道氣泉通報は祖里、全州、签一月を入り、 各地方に

水禍頻

慶南は死者十九名

平均十六ミリの豪雨

二一ヶ断▲鐡道決潰五ヶ所 羅津と雄基

た、質問副江の水位は五米で引つ 五、二軒の東村鐵橋東側桑堤六米 一套折局人位)東海中部級大邱起野 なり、飛客は東村聯に下血せしめ は増水のため流失、列車は不通と 水泳も新記録品

質は八月十一日から三十日まで京

府民が送別會



町本 振草 が 実製 城金



りのものを詰めてるため一郎は、 **支闕の次の間で、トランクに手建しらうか!」 世親は冬二のことも常しばりした調子でいふと、**



一日の番組

のコーチ 福士 山崎

伝駒山の山腹にある寺で、

開 (二) 神保 如天 神保 如天 即 同七時一分 (東) 朝の修養 無門 阿際オリムビック大音放窓

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

整無断上消失為

平常者の胚末な路位の胸元を急い開方の手で聞れた髪を掻き上げ、

ムビック大會放送 午後十時四十分——

純毛二枚/資毛布

等人計量

カラクジなし

示玉ポートワイン

八イキングセツト(Mak/y) 家庭用大工道具 (X&A/y) ボリキチェア…………

家庭用救急箱 (* 8 素 4 4 2) 家庭用自働符…………

鐵『グワヤゴール』等を配合調型せるものにして、動植物佐郷背トニクは人夢、座茸、温幸藿の有効成分に『ヴィターミン

映の漂とを送早します ● 御郵送に封 所姓名を明記して 左記へお送りあれ の のとす 個とを一概めとし レッテ・ の)のとす 個とを一概めとし レッテ・ が は、まず・ 栓を撮 (2) 但シ台灣ヲ除ク○●明はこの整切手貼付の事

酒うどぶ 精滋 力強 味甘 然天